

道退教渡島・函館支部便り

NO 2012年
91 7月20日

事務局 全教渡島教職員組合内 函館市昭和町34-23 ☎0138-42-7422 *事務局 〒040-0075 函館市万代町1-1 中国書代印 方 ☎0138-43-2784

◇地区担当者会議の開催について

と き 八月一日(水)午前十時
と ころ 全教事務所
出席対象者

- ・ブロック長
- ・副ブロック長
- ・福祉委員

※ 詳しくは、同封の案内書を参照下さい。

第十五回青芽展の開催について

- ◇作品搬入日 九月二十四日
午後二時より
- ◇展示期間 九月二十六日～
十月一日まで
- ◇会場 ネットトヨタ美原店
二階展示ホール
- ◆作品応募 九月十六日まで
詳しくは同封の「案内要項」
に従い応募ください。
- ※ 開催期間中「会員交流コーナー」設置しております。

◇全国教育署名スタート

「教育費無償化」と「ゆきとどいた教育」をすすめよう
中央段階では、すでにスタート集会が開かれております。
今年度も、引き続き署名活動が展開される運びとなりました。

- ◆ 震災復興のための教育予算増を
- ◆ 国の責任で三十人学級を
- ◆ 教育費無償化の前進を

※ 署名用紙届き次第、会員の皆様へ配布いたします。

- ☆ 一次集約 九月末日
- ☆ 二次集約 十一月末日

よろしく

◇全退教二十周年事業

「支部発行紙・誌応募」
三十歩・十五歩の会 会誌
「三十歩」をさんぽと読ませ
「十五歩」を はんぽと読ませる、
凝ったネーミングで感心しました。
四月から十月まで毎月二回の行動。
十二年度の計画を見るとうらやましくなりました。函館の顔が見えてきました。

◇第一回学習の集い終えて 「退教福祉委員会」

去る七月十二日、今年一回目の「集い」として南かやべ町の函館市縄文文化センターを訪れました。この日は、天気予報通り「雨」に見舞われましたが、学習は館内です。まずは救われました。受付を済ませた後、女性の学芸員の説明・案内に、ふむふむなるほど・・・と、ほぼ一時間。

◇縄文ロマンに浸る 函館市縄文文化交流センター



(道の駅「縄文ロマン南かやべ」)



よく作っています。参加者の感想も、毎回の雰囲気も伝えていきます。記録は横書きでないといけないうのでしようか。右開きなので縦書きだと思つと、最初から横書きで少々混乱しました。
※ 全退教からの感想が寄せられましたので、支部報で紹介しました。



国宝「中空土偶愛称「カック」」は縄文時代後期後半の墓より出土したといわれています。頭部から脚先まで全身が薄く精巧につくられており、文様構成にも優れていて、中空土偶としては最大といえます。その他興味深く感じたものに、足型付き土版である。多くは幼子の足型である。命を大切に、循環と再生を信じた縄文人の精神に触れることができたような思いがした。
最後に、みんなで記念写真におさまり、縄文館を後にした。
次は、大船遺跡の発掘現場を見ようと走りしましたが、雨がやや大降りになつてきたので、中止し、「ひろめ荘」へ直行、温泉に浸り、ランチ休憩とする。今回の参加、総勢十四名
今後、特に、一人暮らしの会員の参加を期待したい。
次回は、秋の紅葉と温泉―大沼湖畔周遊―グリーンピアへ 時期は十月下旬の予定です。
(文責 中居)



俳句



- 靴底の熱きがかなし原爆忌
- 振り花被災無言の石並ぶ
- 広島忌ドームの骸天に吠ゆ
- 八月のしんと動かぬ造船所
- 八月十五日の太陽痛すぎる
- 眠れば真っ赤な八月十五日
富樫 進
- 口遊む「二十間坂」明け易し
ほこらあつと
- 青葉映え神木「手術」祠跡
- ジンギスカン知者偲んで花見鍋
- 夏木立戦士を悼み古戦場
- 宅配の声に急ぎし父の日や
木下 澄生
- この空の華に祈りし原爆忌
- 夏空にとどく花火や映える海
- 海峡のむこうに大間人静か
- 吐くごとくシユブレヒコール子の瞳
- 窓越しの老翁交わる目の静か
佐藤 匡弘

ペンで結ばれる会員の絆



「ネパール山旅紀行シリーズ編」

16 ↓ サンクダ村 ↓ 田中 邦幸

憧れていたドルポへは2006年にボクスンド湖まで行くことが出来た。しかし、上方ドルポこそ本物の生活を見ることが出来るというので、強い憧れを抱いていた。同行してくれる方が突如現れたので、入城条件を満たすことが出来、おまけに費用が20万円も安くなり、道中の素敵な話し相手にもなってくれたので、この上ない三週間の山旅をすることが出来た。

6月は雨期の最中ではあるが、前方には、ダウラギリやアンナプルナ等の高山があり、雨雲を遮ってくれるので、この地方はチベットの気候になっていた。3週間は昼・夜とも晴天だった。

飛行場まであと二日という村がここである。この村はこのような大量の石によって壁が造られていて畑地を守っている。

このように大規模な石壁は他では見ることが出来ない。
(2009年11月サンクダ)

「アメリカ旅紀行シリーズ編」



17 ↓ 食事・食品

佐藤 匡弘

バーベキューが出来たところで「食べ物の話に移ろう。」



向こうにも日本の「ヤオハン」の出店があるので日本食品・調味料には不自由しない。味噌、醤油、納豆、豆腐等々、先ず何でも手に入る。だから食事で不便を感じることはなかった。ただ、せっかくアメリカに来たんだからせいぜいステーキを食べようとの思いがあった。行って何日目かに夕食をステーキにした。3センチ位の厚いやつを塩、コショウ、バターで焼いて食べたが、向こうで食べているという思いも重なって、本場の肉の味に舌鼓を打った。手のひら程の肉が5枚で\$8.510(1000円位)だった。

しかし、やはり日本人、肉が続くと「今日はもういいよ」となり、後は帰国直前まで肉敬遠の日が続いた。ビールは米国製のミラーというのが美味しかった。350ミリリットル缶1ダースが11\$ちょっとだったから、1缶100円位で飲めた。

「一口文(つぶやき)」

ツイッターで広がる官邸抗議
原発なくせ 思い1400字に
(赤旗)

東電事故最終報告書

「想定外の津波が原因」だと…、
やはり「想定外」が使われる奇々怪々
誰も信じない「報告書」

造反60人規模か 民主党ガタガタ…
道新 (匡弘)



【遣返教渡島・図書館支部 福祉委員会発行】